

『科学とは』

1．実験科学

再現性による証明

2．書齋科学

(古典科学)

文献による証明

3．野外科学

現場での観察による証明

書齋科学（文献科学）

文献（主として古典）と推論過程（図書館の出現、
書齋科学確立の証）

紀元前、アッシリア、泥枕の図書館

実験科学

仮設の実証（実験）、再現性による（説得）方法論
の確立

科学キ実験化学

野外科学

仮説発想的、個別から普遍
（実：普遍から個別）

野外：フィールド、現場

事実、データをして語らしめる

K . J 法

野外科学におけるデータの統合

KJ 法とは

(川喜田二郎)

データそれ自身をして語らしめよ。

データが語る声に従って、虚心担法にまとめる。

混沌とした現実の中から、なんらかの秩序を見出して体系づける

個別的現象から、しだいに一般的、普遍的な秩序の発見にむかう。

データの共有化

グループの考え方を多様なまま(切り捨てずに)まとめる。

	問題把握	現状分析	原因追求	方針設定	解決策立案	手順化
KJ 法 バラバラな断片情報をボトムアップでまとめる。						
連関図法 複雑な絡み合いをネットワーク状に整理する。						
系統図法 トップダウン的にツリー状に枝分かれで考える。						
特性要因図法 大骨 中骨 小骨とトップダウンで整理する。						
マトリックス図法 表を使って要素を多元的に組合わせて検討する。						
アロー・ダイヤグラム法 矢印を使って手順の前後関係を整理し、日程を効率的に計画 / 管理する。						
PDPC 法 事態の進展とともに先を読み、望ましいゴールへと導く。						
フローチャート法 条件に対する処理の流れを論理的に記述する。						

：よく使われる

：よく使われるが他の図表を使うことが多い